



遠隔の丘

由利本荘市立子吉小学校

学校だより

第 13 号

令和7年8月25日

夏休み終了！ 元気な声と笑顔が戻ってきました！

33日間の長い夏休みを終えて、子どもたちの元気な声と笑顔が学校に戻ってきました。子どもたちは、家族とゆっくり過ごしたり、友達と楽しく遊んだり、楽しい思い出をたくさん作ることができたのではないのでしょうか。

また、宿題や自由研究などにも一生懸命取り組んだことと思います。休み中に蓄えた英気を休み明けのパワーに変えて、勉強に遊びにスポーツに、学校生活を充実したものにしてほしいと思います。

保護者の皆様、夏休み中の子どもたちの安全へのご配慮、ご協力、ありがとうございました。

休み明けも子どもたちへの、「**氣に掛け、目を掛け、声を掛け**」を、よろしくお願いいたします。

「校長あいさつ」より

私は、夏休み中、大谷選手の活躍と、甲子園での高校野球を見ていました。秋田県代表の金足農業は、1回戦で優勝した沖縄尚学高校と対戦し、惜しくも1点差で破れてしまいましたが、本当によく頑張りました。他にも、1点差の接戦や延長戦が多く、最後まで諦めず全力でプレイする選手の姿に、たくさんの感動をもらいました。

その中で、特に心に残っているのが、優勝候補の横浜高校を延長で破り、ベスト4に進出した、県立岐阜商業高校の横山温大選手です。ニュース等でも取り上げられていましたが、横山選手には、生まれたときから左手の指がありませんでした。指がないと、ボールをしっかりとつかむことができないので、野球をするには、とても大きなハンデです。それでも横山選手は、プロ野球選手になるという夢を諦めず、毎日毎日、人一倍努力しました。

「どうしたらボールをうまく投げられるか？」「どうしたら捕れるか？」何度も何度も壁にぶつかりながら、そのたびに工夫を重ねました。中学校の時には、チームのピッチャーとして活躍し、その結果、全国から強豪選手が集まる県立岐阜商業高校に入学しました。とてもレベルの高い選手が大勢いるそのチームで、レギュラーの座を勝ち取り、甲子園に出場し、毎試合ヒットを打ってチームをベスト4まで導きました。そのプレー1つ1つは見ている人を引きつけ、ハンデのない選手以上の活躍で、多くの人に感動を与えたのです。

横山選手は自分の夢を叶えるため、チームの勝利のために一生懸命プレイしましたが、その姿を通して「**できない**」と諦めないことを私達に教えてくれたように思います。みなさんの中で、何か困ったことや苦手なことに向き合ったときに、「自分には無理だ」とすぐに諦めてしまうことはありませんか？横山選手は、「**できない**」を「**どうしたらできるか？**」と考える力に変えました。

これからみなさんには、様々な「できない」という壁が立ちあがるかもしれません。あきらめるのは簡単ですが、そんなときこそ、横山選手のように、「**できない**」を「**どうしたらできるか？**」と考えてみてください。そうやって粘り強く、「**工夫**」と「**努力**」を積み重ねれば、「**できなかったこと**」も「**できる**」ようになり、壁を打ち破れるはずですよ。

夏休み明けも色々な行事や困難なことがあります。横山選手の「**諦めず、工夫して努力する気持ち**」を忘れずに、みんなで一緒に頑張っていきましょう。



夏休み作品展 8/27~8/29 16:00~17:00 (プレイホール)

功績の紹介

よくがんばりました！

7/12 本荘由利スポ少競技別交流会

U-11の部 第3位 本荘南FCSS (4年 嵯峨〇〇 3年 伊原〇〇)

7/12 第16回あきたスポーツ祭典 1ダブルス2シングルス卓球大会

男子	中学生以下の部	優勝	子吉卓球スポーツ少年団
女子	中学生以下の部	第3位	子吉卓球スポーツ少年団

閉校記念学校開放 ～たくさんの方にお越しいただきました～

8 / 15（金）に、閉校記念事業として学校開放を行いました。お盆で帰省されている卒業生をはじめ、地域の方、在校生など、300人あまりの方が来校し、懐かしそうに学校の中を巡っていかれました。

また、校長室に置いた歴代の卒業アルバムを見て、当時を懐かしんで語り合う様子も見られました。

お忙しい中、学校開放にお越しいただき、ありがとうございました。

感想から

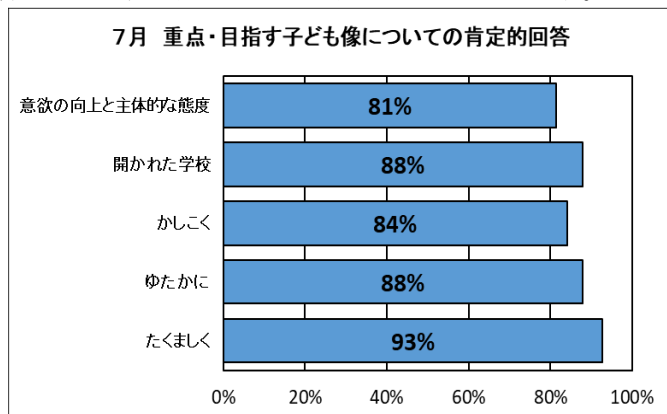
- ・何十年ぶりに入らせていただいた子吉小ですが、懐かしく色々と思い出して涙が出そうになりました。たくさんの思い出があります。これまで子吉小を支えてくれた先生方、本当にありがとうございました。
- ・同級生数人で参加しました。あまり入って見ることができない所を見学できてたくさんの思い出話ことができました。このような企画をしていただきありがとうございました。



「7月保護者アンケート」の結果

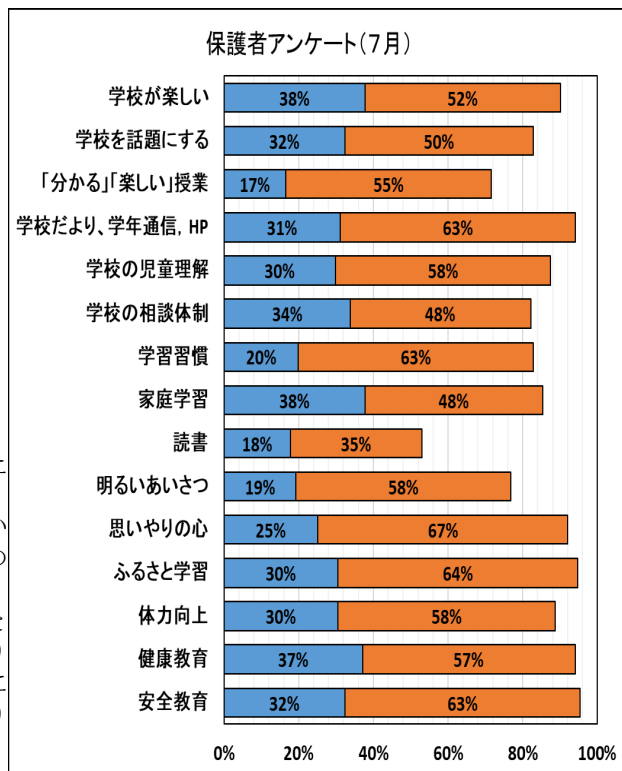
7月末に実施した「保護者アンケート①」の結果について、概要をご報告いたします。

本校の重点である「意欲の向上と主体的な態度」と「開かれた学校」の2つと、「目指す子どもの姿」を支える「かしこく」「ゆたかに」「たくましく」の3つを合わせた5つの項目に対し、それぞれ3つずつ、全部で15個のアンケートを実施しました。ご回答いただいた設問について全校の割合をまとめ、「そう思う・ややそう思う」の肯定的な回答を表したものが下のグラフになります。



15個中12個の設問で、80%以上の肯定的評価をいただき、全体的には良好な結果と捉えております。

特に、「学校が楽しい」「学校だより、学年通信、HP」「思いやりの心」「ふるさと学習」「安全教育」「健康教育」の7つの設問については、90%以上の肯定的評価をいただきました。一方、「分かる、楽しい授業」が72%、「読書」が51%と厳しい評価をいただき、改善を図っていきたいと考えております。その他、80%に満たなかった「明るいあいさつ」については、子どもたちのアイデアを取り入れながら、より良い方向になるようにしていきたいと思っております。



本荘東小でも継続してほしい子吉小の教育活動

- ・朝の音読
- ・挨拶運動
- ・通学の際の集団登校
- ・運動会や学習発表会
- ・町探検などの校外学習(子吉地域の人との交流)
- ・3年生の矢島、鳥海方面への学ぶんチャレンジプログラムツアー
- ・5年生の岩城少年自然の家での宿泊研修
- ・アウトメディアデーといじめ調査
- ・登下校の見守りの方へのプレゼントなど「ありがとう」を伝える活動
- ・困り事など、連絡帳でやり取りしたり、直接担任と話したりしての対応
- ・学校の良いところを残しつつ、子どもたちが不安なく登校できるようにしてほしい。
- ・子吉小の先生方は、子どもたちのことをよく見てきめ細やかな対応をしている。統合して人数が増えても、同じように子どもたちを見てもらえたら、親として安心だ。
- ・異学年交流や縦割り活動(花植えなど)
- ・パワーアップ学習
- ・体操着等のリユース
- ・田植えや稲刈り